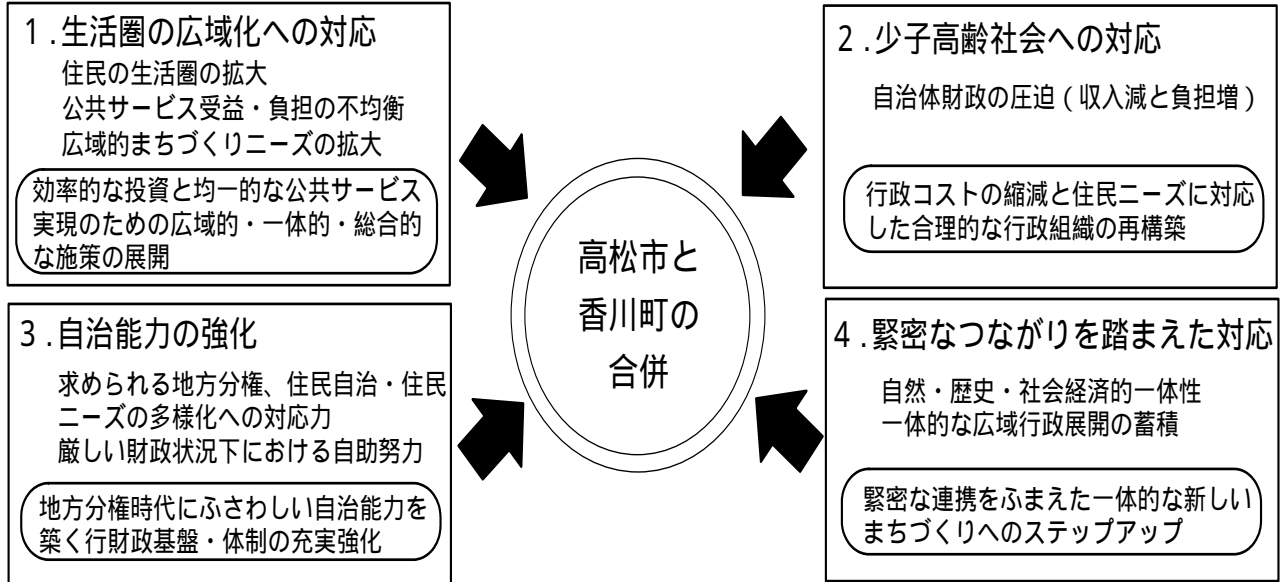


高松市と香川町の合併による “まちづくりプラン”(建設計画)の骨子

1. 合併の考え方



2. 高松市と香川町の合併によるまちづくり

2-1 合併による新しいまちづくりの理念

これまでの両市町のまちづくりの歩みを尊重し、地理的条件、都市機能や産業基盤、多様な地域資源や地域特性を生かしながら、地域全体の魅力や個性を一層高め、豊かで持続的発展が可能な地域社会、文化的で快適な生活が営める都市の創造を目指す。

また、みずからの判断と責任で、まちづくりを实践できる自立性の高い自治体を目指す。

このため、合併により、行財政基盤の充実強化を図り、一体的、効率的な行政を進め、多様化、高度化する住民ニーズや社会経済環境の変化に適切に対応した住民サービスと住民福祉の一層の向上を図る。

2-2 香川町地域のまちづくり

香川町地域の役割と機能

- (1) 高松市南部の要としての拠点機能：香川郡内における先導的役割を果たしてきた立地特性等を踏まえ、近隣地域と一体となって活力ある地域づくりを進める拠点
- (2) 質の高い生活文化の創造と身近な学習・交流機能：特色ある郷土の文化資産を活用するとともに、質の高い生活文化と身近な学習・交流活動を発展させる地域
- (3) 暮らしの支援機能：安全で質の高い食糧の安定供給と農業の付加価値化の促進等による農業振興など暮らしの支援機能を担う地域



- 香川町地域の位置づけ -

“うるおいのある田園型生活文化を発信する交流ゾーン”

香川町地域の5つのまちづくりの基本目標と基本方針

(1) “連帯”のまちづくり
～保健・医療・福祉の充実した心身
ともに健康で安心して暮らせるまち
の実現～

少子・高齢化が進行する中、住民
同士や住民と行政の連帯に基づい
て、保健・医療・福祉の連携を図り、
福祉の充実した、心身ともに健康で
安心して暮らせるまちの実現を目指
します。

(2) “循環”のまちづくり
～自然を守り、生かした、自然と
共生するまちの実現～

田園風景に代表される水と緑豊か
な香川町地域のかげがえのない自然
環境を保全するとともに、豊かな暮
らしを実現するため、循環型社会シ
ステムの構築などにより、貴重な自
然資源を守り、活用し、自然と共生
するまちの実現を目指します。

(5) “参加”のまちづくり
～住民一人ひとりが参画するまちの実現～

地方分権の要となる「地域自治」の実現に向け、
行財政運営基盤の充実強化を進めるとともに、多様
な住民の声を施策に反映する仕組みづくり、住民自
治力の育成支援、情報公開・情報提供の拡充を図り
ながら、地域づくり、環境保全、文化、スポーツな
ど、あらゆる面での住民活動を活発化させること
により、次世代に誇れる、住民一人ひとりが参画す
るまちの実現を目指します。

(3) “連携”のまちづくり
～安全・安心な生活環境のもと、香
り高い文化とうるおい、ゆとりに満
ちた豊かな生活を創造するまちの
実現～

価値観が多様化し、生活様式が変
化する中で、住民と行政の連携によ
る創意工夫に基づいて、住みやすい
安全・安心な生活環境を築き、香り
高い文化とうるおい、ゆとりに満ち
た豊かな生活を創造するまちの実現
を目指します。

(4) “交流”のまちづくり
～位置的特性や空港など豊かな
潜在力を生かした活気あふれるま
ちの実現～

四国の中核管理都市である高松市
の南部、香川県のほぼ中央に位置す
るとともに、高松空港や四国横断自
動車道への利便性が高いなど、香川
町地域が有する豊かな潜在力を生か
し、既存産業の振興と新たな産業の
育成支援を図るほか、交流の活性化
を支えるネットワークの充実を図
り、活気あふれるまちの実現を目指
します。

重点取り組み事項（「第3章 施策・事業」から抽出）

1 “連帯”のまちづくり

(1) 高齢者・障害者にやさしいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやかセンターの機能の活用 ・シルバー人材センターの機能充実等の支援
(2) 保健と医療の充実したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流の促進 ・香川病院の機能充実 ・医療機関のネットワーク化
(3) 子どもたちを健やかに育てるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉の連携 ・保育所の統合整備
(4) 基本的人権を尊重するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・特別保育の拡充

2 “循環”のまちづくり

(1) 自然環境の保全と共生に基づくまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加による里山の保全と活用 ・水質浄化 ・親水空間整備
(2) 水資源を大切にすまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・桜川ダム整備事業の促進（県） ・配水管敷設替え事業 ・上水道施設監視システム設置 ・流域関連公共下水道事業
(3) 環境にやさしい社会を構築するまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・合併処理浄化槽の設置促進 ・ごみの減量化・資源化の推進
(4) 自然環境とふれあう快適なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・し尿貯留層（中継基地）改修 ・地域新エネルギー（太陽光発電設備）の整備 ・ISO14001認証取得の推進

3 “連携”のまちづくり

(1) 安全で安心して生活できるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・災害につよいまちづくり ・地域防災無線システム構築 ・消防・救急無線デジタル化整備 ・携帯電話等緊急通報システム整備 ・消防緊急情報システム整備
(2) 人材を育み、人々がいきいきと元気に暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路環境の整備 ・幼稚園、小・中学校施設の整備 ・教育情報通信ネットワークシステム整備 ・園児・児童の安全対策事業 ・既存施設を活用した文化施設の整備
(3) 生活の豊かさを実感できるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・特色あるスポーツ施設の整備 ・移動図書館巡回事業 ・まなびCANインターネット整備運営 ・新世代地域ケーブルテレビ施設整備
(4) 歴史と伝統文化を生かしたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「電子市役所」構築 ・戸籍事務の電算化 ・地籍調査事業 ・伝統文化の保存・継承の支援充実 ・歴史資料館常設展示内容の変更

4 “交流”のまちづくり

(1) 時代の変化に応える産業を育てるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産基盤の整備 ・担い手農家の育成、農作業受託組織等の育成 ・企業立地の促進 ・体験学習型観光の振興
(2) 魅力ある観光・交流を育てるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと香川フェスティバルなど共同交流イベントの開催 ・県道等改修（県）【岩崎高松線、東谷岩崎線、三木綾南線バイパスルート（仮称）構想の検討】
(3) 広域的な交流を育てるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・市道等改修【下川原北線、中坪寺井線、向坂宮下線、高見線、新川線、一宮川東線、八王子線、城渡北線、新開実相寺線、梅香井線など】
(4) 利便性の高い交流基盤に支えられたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・公営循環バスの拡充・整備 ・パーク＆ライド導入の検討 ・都市計画マスタープランの策定 ・土地利用計画の検討

5 “参加”のまちづくり

(1) 行財政運営基盤の充実強化を目指すまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・支所機能の整備 ・簡素で効率的な行財政システムの構築
(2) 心ふれあうコミュニティ形成を基礎としたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動拠点の充実整備 ・香川地区地域審議会の開催
(3) 住民と行政のパートナーシップに基づくまちづくり	

2 - 3 新しい高松市の都市づくり

将来構想を展望した都市づくりの方向

(1) 道州制における州都機能の確保を視野に入れた中枢性、拠点性を発揮できる都市づくり

都市交通網や情報通信基盤の整備を図り、付加価値を高めるソフト事業を戦略的に展開する中で、にぎわいとうるおいのある都市空間の創造、豊かな都市生活を支える質の高い都市サービスの向上を図る。効果的、効率的な都市政策や都市経営に取り組むことにより、道州制における州都機能の確保を視野に入れた中枢性、拠点性を発揮できる都市としての着実な発展を図る。

(2) 市民が住みやすく、いつまでも住み続けたいと思える都市づくり

保健、医療、福祉の充実や安全で安心して生活できる環境づくり、自然環境の保全と資源の循環的な利用を基調とした環境にやさしい循環型地域社会づくり、うるおいとゆとりのある生活環境の整備、教養文化、スポーツ・レクリエーションなど、生涯学習の充実や文化活動の促進を図る。様々な生活分野において、地域の有する施設や人材などのネットワーク化や連携、住民同士の連帯感の醸成を図る中で、市民福祉や市民生活に関する施策や取り組みを総合的、効果的に展開する。

(3) 地域の特性、特色を生かし、地域バランスに配慮した都市づくり

豊かで多彩な自然資源や都市資源、産業資源、歴史文化資源など、それぞれの地域の有する個性、特色を生かした地域づくりを進めるとともに、都市集積度の高い地域と中山間地域や島嶼部との間で、行政サービスの格差が生じないよう適切な対応に努める。

市民の利便性等を考慮する中で、施設や行政機能の都心部への一極集中とならないよう地域バランスに配慮するとともに、人口の減少している地域における定住促進を図る。

(4) 多様で幅広い交流を展開する都市づくり

交流人口の一層の拡大に向けて、円滑な交流を促す道路や海上を含む公共交通などの基盤整備、広域的な観光レクリエーション機能、情報発信などのソフト戦略の積極的な展開などにより、多様で幅広い交流を支える都市づくりを進める。

(5) 新しい時代をリードし、地域発展を支える産業を育てる都市づくり

産業構造の変化や情報化・高速化の時代に対応できる産業・経営基盤の強化を図るとともに、研究開発型産業、頭脳集約型産業やソフト産業など、時代をリードする新しい産業の育成や企業の誘致・立地の促進に努める。

自然や歴史文化、温泉などの豊かな観光・交流資源を生かした集客・交流産業の育成を重視するとともに、第一次産業と観光との融合などによる付加価値の高い産業の創出を促進するほか、生活、福祉サービスなど、コミュニティビジネスの育成を図る。

(6) 地域みずからが主体的に取り組む自立した都市づくり

情報公開と情報発信を積極的に推進する中で、女性をはじめ様々な分野の市民の参画を保障するシステムの構築など、市民と行政のパートナーシップによるまちづくりを進める。

古い仕組みを改革と将来に向けた再生を図る中で、中核市としての機能を最大限に生かしながら、自己決定と自己責任の考え方により主体的に都市づくりに取り組むことのできる自立した自治体を目指す。

2 - 4 将来都市構想における望ましい都市像

21世紀の四国の州都を展望した
風格ある環瀬戸内海圏の中核・中核拠点都市 / グレーター高松の創造
- 海・^{まち}街・山と 人が融け合う 元気なまち・高松 -

(趣旨)

四国の州都にふさわしい風格のある都市づくりを展望した、環瀬戸内海圏の中核・中核拠点都市としてのグレーター高松の創造を目指すこととし、高松市の都市機能の集積をベースに、市街地中心部をはじめ、各地域の街(まち) 集落機能と、自然環境豊かな農村地帯、そして讃岐山脈に抱かれた中山間地域までの多様で特色ある地域が、融合し、一体となったまちづくりを進め、そこに生活する住民同士が、地域の共同目標を共有し、共通認識を持つことによって、地域の総合力を発揮する中で、元気のある都市(まち)を創り上げることを目標とするものです。

エリア別の機能整備の方向

臨海部・島嶼部エリア(海洋性交流創造エリア)

サンポート高松の親水・交流機能と連携し、瀬戸内海の地域資源を活用した海洋性レクリエーション機能、交流機能を軸としたゾーン形成を図ります。

また、観光・文化資源を生かした海洋性の文化・芸術交流の拠点の整備を図ります。

都市中心エリア(業務・都市型産業創造エリア)

サンポート高松を中心とした国際化、情報化に対応した新しい都市拠点機能の核づくりなどを通じて、高次都市機能の集積した中核拠点地域の形成を図ります。

また、香川インテリジェントパークを核とした新しい時代を拓く都市型産業や、特色ある文化の創造に向けた、技術・情報・文化の複合拠点の形成を図ります。

都市近郊エリア(田園型産業・生活創造エリア)

都市近郊の特性を生かし、豊かな田園環境と調和した生活文化交流ゾーンの形成を図ります。また、都市拠点地域と連携した商業・サービス機能の活性化を図るとともに、高松空港を活用した高付加価値型農業などの産業の振興を図ります。

さらに、多様な生涯学習の場として、市民の憩いとうるおい空間の充実を図ります。

丘陵・林間エリア(親林・親水型保養・交流創造エリア)

温泉を核に、森林、清流などの自然環境を生かした観光・レクリエーション機能の集積を進め、親林・親水型保養・交流環境づくりを進める中で、圏域内外から広域的に誘客できる質の高い広域保養交流ゾーンの形成を図ります。

また、多様な生涯学習の場として、市民の憩いとうるおい空間の充実を図ります。

エリア別の機能整備（まちづくり）のイメージ図

